

世界法学会 2024 年度研究大会報告者公募のお知らせ

2023 年 9 月 19 日 世界法学会企画委員会

本学会は、2024 年 5 月 18 日（土）に名古屋大学において研究大会を開催します。

企画委員会は、2024 年からの 3 年間の研究大会について、「世界の持続可能性を支えるグローバルな規範の実現」という中期コンセプトを定めました。その上で、2024 年度の研究大会の年次テーマは、「国際経済法の危機における国際法の一般原則の役割」と設定しています。それらの趣旨については、末尾の資料をご参照ください。

この研究大会への報告者の一部を下記の要領で公募します。若手の研究者や実務家をはじめ、多くの会員の方々の応募をお待ちしています。

※本研究大会では、依頼報告として、WTO 紛争解決制度、グローバル・バリューチェーンと国際経済法、経済制裁、投資家の責任などの課題が取り上げられる予定です。同様の問題について応募があった場合には、選考にあたって、独自性の要素がとくに重視されます。

記

1. 公募内容

公募報告者数は若干名。報告テーマは、上記の 2024 年度の年次テーマあるいは中期コンセプトにかかわるものであれば、特段の制約はありません。報告時間は 1 人 25 分で、報告後、質疑応答を行います。英語での報告を希望される場合は、ご相談ください。

2. 応募資格

2024 年度研究大会開催時に本学会の会員になっていること。本学会への入会手続きについては、本学会ホームページ(<https://www.jawl.jp/application.html>)をご覧ください。

3. 応募手続

次の①～⑦を記載したファイルを、2023 年 12 月末日までに、メールで本学会事務局宛（info@jawl.jp）に送付してください。期日を過ぎた応募は、一切受け付けません。

- ①氏名
- ②所属・地位
- ③連絡先（メールアドレス、電話番号、住所）
- ④略歴・主要業績リスト
- ⑤報告テーマ

⑥報告の構成（目次など）

⑦報告概要（2,000 字以内）

4. 審査結果の通知

企画委員会で審査を行い、2024 年 1 月末日までに応募者に結果を通知します。

【資料】

①2024 年度から 3 年間の研究大会の中期コンセプト：「世界の持続可能性を支えるグローバルな規範の実現」

趣旨：気候変動の制御・人権の保障・国際経済活動の自由化など、グローバルな課題への法的な取り組みを中心に各年次研究大会のテーマ設定を行う。とくに、国際社会全体の持続可能性を支える一般的な価値や規範原理を実現するための、グローバルなシステムに着目したい。

②2024 年度研究大会のテーマ：「国際経済法の危機における国際法の一般原則の役割」

趣旨：国際経済法分野は、WTO 体制の下で高度に専門化し、貿易・投資に関する多数の条約の締結や、紛争解決制度の利用による国家実行の蓄積を背景として、この分野に特有の諸規則を精緻化・明確化する方向で発展してきた。しかし、WTO 紛争解決制度の機能麻痺や、安全保障例外による貿易制限、多国間的・一方的な制裁の多用、サステナビリティに関する紛争の増加など、最近の国際経済法が直面する重大な問題においては、国際経済法固有の諸規則を精緻化するだけでは十分な解決を提示することが難しく、むしろ、国際法の一般的な諸原則についての考察が重要な役割を果たすようになってきている。そこで、国際社会における一般的な価値や規範原理を担う諸原則が、重大な困難に直面している国際経済法分野において、どのような意義を持つのかを検討する。

以上